

SEIKEI Vision 150

グローバル・パースペクティブをもつリーダー養成

共生社会の善き生と正義の実現に寄与する学問研究の不断の追究の中から、在野の精神に立ってグローバル社会の未来を切り開く自律的な次世代を創出する。

早稲田大学 政治経済学術院

グローバル・パースペクティブをもつ リーダー養成

- “Philosophy, Politics and Economics”(PPE)を理念とした
学部・大学院における一貫した教育・研究
- グローバル・リテラシーと政治学および経済学を核とする体系的な
専門的知識の修得
- グローバル・パースペクティブをもつ職業人ならびに研究者として、
地域社会から国際社会まで、様々な分野の多様な組織において活
躍するグローバル・リーダーの養成

グローバルパースペクティブをもつリーダー養成

真にグローバルな教育空間の実現
EDESSA、DDP、国際連携教育プログラム、留学の推進

総合的な能力開発プログラム

アカデミック・リテラシー

英語コミュニケーション能力

分析手法 & 方法論

日英ハイブリッドカリキュラム

体系的な専門教育プログラム

政治学

国際政治経済学

経済学

学部・大学院一貫教育
3+3で博士学位修得をめざすSEIKEI Honors Program

グローバル・リテラシー
—共生と自律—

専門的学知
—Philosophy, Politics, Economics—

日英両言語による ハイブリッド型教育体系

SEIKEI Vision 150, part I

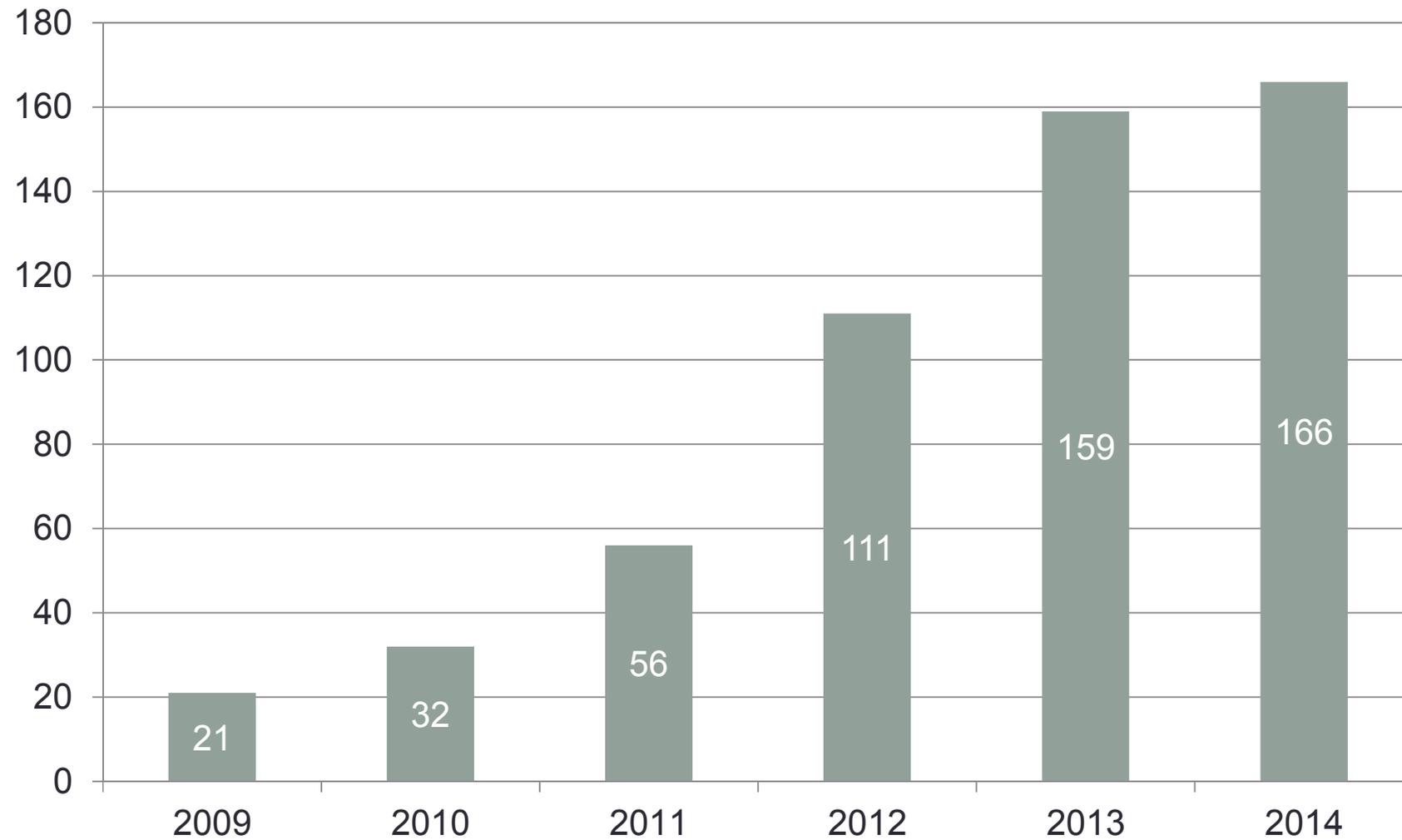
- 学術院におけるすべての学位プログラムが日英両言語によるハイブリッド型となる。
- 学生は、国籍や初中等教育歴に関係なく、言語能力等に基づき最も適切な入試を経て入学し、日本語および英語を駆使して学修に取り組む。
- 主たる教育言語を日本語とする学生と英語とする学生の比率は2:1となる。
- 多くの学生が在学中に海外留学を経験する。
- グローバル・パースペクティブをもつリーダーを養成し、共生の次世代を創出する。

SEIKEI Vision 150, Part I

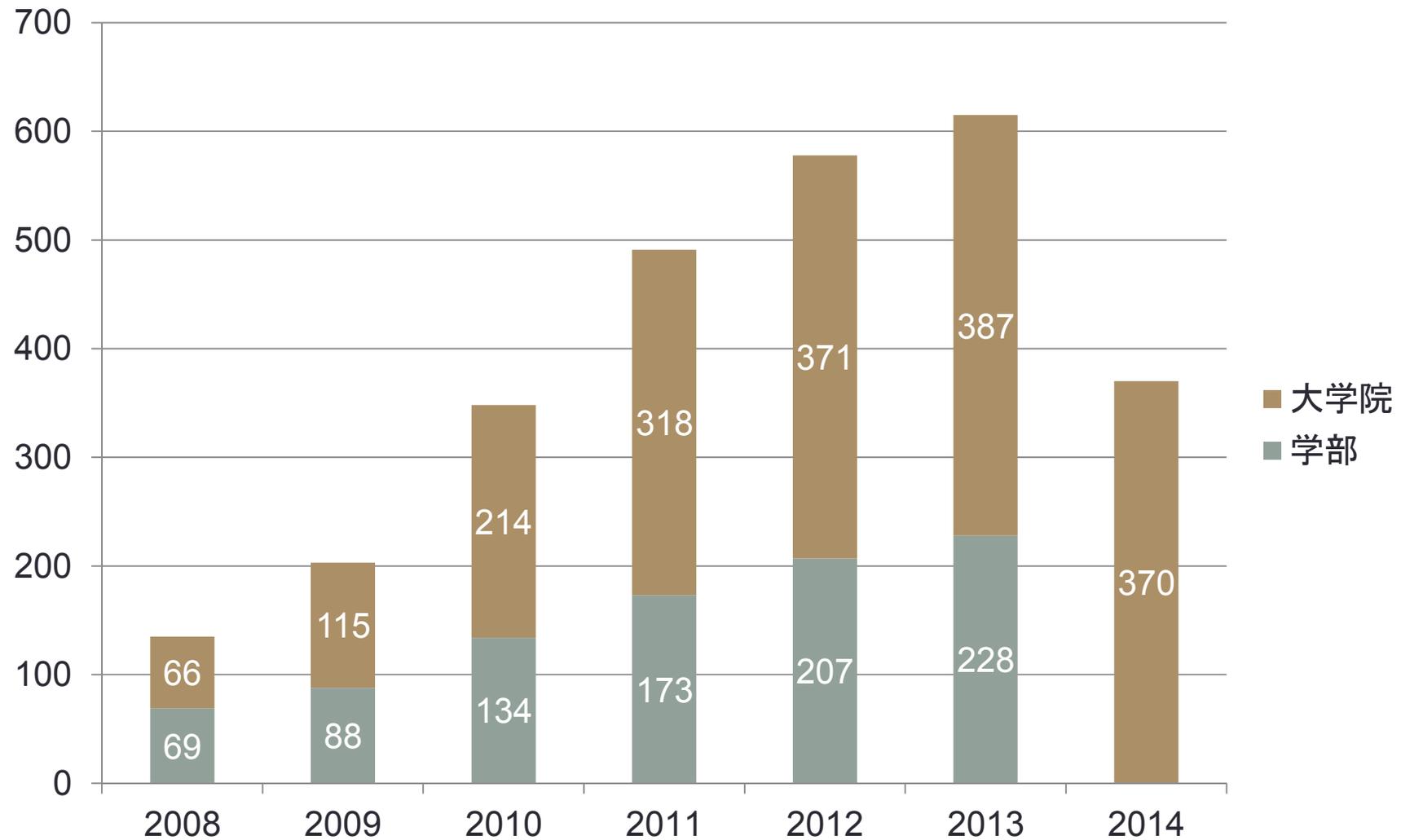
日英両語によるハイブリッド型教育体系《Vision》

SEIKEI Vision 150, Part I 日英両語によるハイブリッド型教育体系 《重点的取り組み》

- EDESSA (English-based Degree Studies September Admission) の拡大
 - 入学定員: 50名(2013年度)、75名(2014年度)、85名(2015年度)、100名(2016年度)
- EDESSAプログラム専任教員の採用
 - 6名枠の確保(2014年度2名採用)、メンター制度の導入
- 国籍を問わず、気概と知的能力においてグローバル・リーダーを目指すにふさわしい優秀な学生を確保することを目指す入試改革
 - グローバル入試実施(TOEFL、国際バカロレア利用、AO型総合選抜を改革)
- 附属・系属校との連携による学部進学者の英語力等の向上
 - 高大連携プログラム実施、TOEFL目標スコア設定
- 教育におけるグローバル・コラボレーションの積極的展開
 - DDP拡大、サマースクール実施、日本-アジアの政治経済学教育プログラムによる連携
- 英語授業科目の履修によるグローバルな教育の体験、留学準備
 - 留学準備のためのアカデミック・リテラシー演習
- 日本人学生の1年次集中英語学習の導入計画
 - TOEFL、能力別クラス、チュートリアル、独自統一教科書による教育の徹底と質的高度化

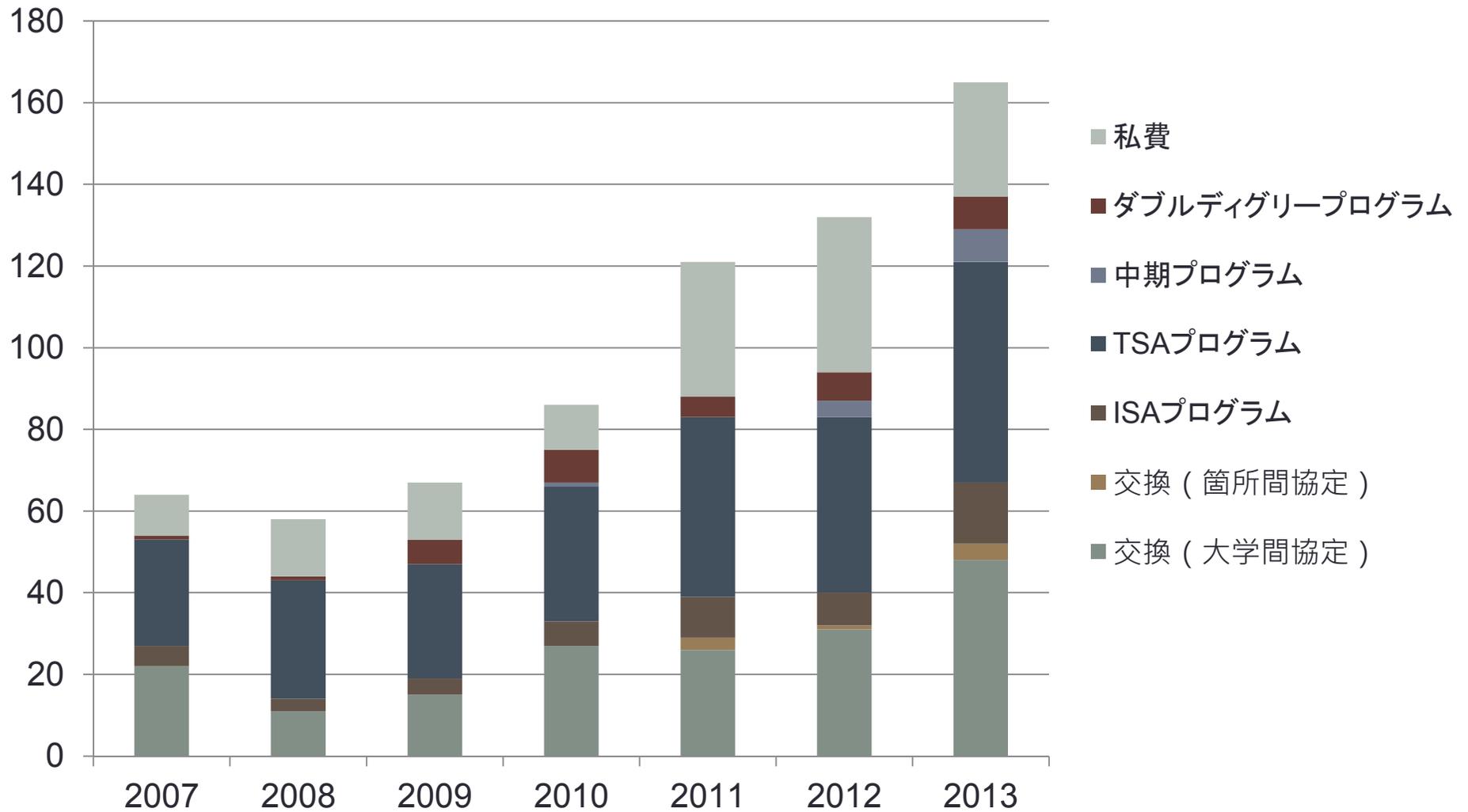


政治経済学部・英語による授業科目クラス数の推移



政治経済学部・大学院受入れ外国人留学生数の推移

*2014年の学部留学生については現在調査中



政治経済学部海外派遣留学者数の推移

自学自修を促す教育の展開

SEIKEI Vision 150, part II

- 「ゼミ」という政経に伝統の教育方法を最大限活かし、入学時の必修の基礎演習から専門の演習を通じた卒業論文まで、少人数教育を徹底し、参加しながら共に学び合うことを通じて、人間形成と知的能力の自己開発を促す。
- あらゆる授業において、学生のアクティブな参加と活動の機会を開き、そうした多様な学修活動を学生自身がポートフォリオに記録し、自ら課題を見出し解決することにより、社会的貢献を目指す自律的で能動的な主体を育てる。

SEIKEI Vision 150, Part II

自学自修を促す教育の展開《Vision》

SEIKEI Vision 150, Part II 自学自修を促す教育の展開 《重点的取り組み(1)》

- ▶ 人間形成と知的能力の自己開発を促す少人数でアクティブな教育
 - 新3号館モデル教室とアクティブな教育授業プラン
- ▶ 入学から卒業まで、1クラス15人以下の「ゼミ」の全員履修
 - 基礎演習(必修、学術的文書の作成および論文とセット)、アカデミック・リテラシー演習、専門・学際領域・ジャーナリズム演習(+プレ演習および卒業論文)
- ▶ 講義科目にディスカッション・セッションを導入するとともに、徹底した学修支援体制を構築
 - 3学科共通専門入門科目「政治分析入門」統一講義+20人単位のディスカッション・セッション、授業を補完するTAオフィスアワー
- ▶ 学生の集中的な授業履修
 - セメスター制の完全実施、クォータ制によるグローバル化対応を可能に

SEIKEI Vision 150, Part II 自学自修を促す教育の展開 《重点的取り組み(2)》

- ▶ あらゆる学問とキャリアの基礎となる方法論教育の重視
 - 3学科共通の分析手法・数学カリキュラム構築
- ▶ インターンシップや寄付講座など、キャリアデザイン力を身に付けることのできる実践的な教育の充実
 - キャリアデザイン・ワークショップ、寄附・提携講座、学外連携講演会シリーズ、卒業生との連携を強化
- ▶ 学生自身の多様な努力と成長の過程の自己確認と自己アピールのためのポートフォリオのシステム構築
- ▶ 教育内容、評価基準、科目別成績評価割合等の公開

SEIKEI Vision 150, Part II 自学自修を促す教育の展開

《重点的取り組み(3)》

➤ 2014年度学部カリキュラム改革(基本方針)

- ①セメスター化の徹底
- ②1学期の履修単位数の削減による予習・復習時間の拡大
- ③基礎教育の学部一体的運営、コースナンバー化による大学院との一体的運営
- ④外国語教育のさらなる充実(GECとの連携)
- ⑤基礎的科目中心に提供。英語授業科目はさらなる多様化。全体としての設置科目数の減少
- ⑥全教員の全学生に対する教育を可能とする科目配置の適切設定
- ⑦政治学・経済学必修科目は、講義科目に加えてTAセッションを開講
- ⑧キャリア教育の一層の充実
- ⑨副専攻の再編等による法・商との連携強化

➤ ゼミという日本・早稲田・政経に特有の教育方法を最大限活かし、1年次から4年次まで、少人数による指導を徹底することで、知的能力の最大限の向上を図る。

- ①基礎演習の必修化(1年次春学期) →学術的文章の作成,ゼミ、演習論文作成で4単位付与。18名定員。
- ②アカデミックリテラシー演習(1年次秋学期～2年次秋学期) →涵養されるべき能力にフォーカスした5つのカテゴリー。半期2単位。15名定員。
- ③専門演習(3年次春学期～4年次秋学期) →政治学、経済学、国際政治学の専門的学知の獲得と活用。15名定員。
- ④学際領域演習(3年次春学期～4年次秋学期) →共生と自律のためのグローバルリテラシーの獲得と活用。15名定員。
- ⑤ジャーナリズム・メディア演習 →プロフェッショナル・スタディーズに基づく実践知の獲得と活用。15名定員。

* ③⑤のプレ演習を2年次秋学期に設定可とする。演習論文(4単位)を別途付与。

* ②～④で演習科目群を設定し、8単位を義務付ける。

グローバル科目—共生と自律のために

導入科目	基礎演習(必修)、学術的文書の作成、基礎演習論文
分析手法・数学科目	統計、ゲーム理論、リサーチデザイン、数学
外国語	英語、その他外国語
アカデミックリテラシー演習	コミュニケーション能力を磨く ライティングとプレゼンテーションの能力を磨く 分析と批判的思考の能力を磨く グローバル・パースペクティブを養う 古典を読む プロジェクトを企画する
グローバルリテラシー	自然と生命(科学技術論、生命科学、地球科学 etc.) 人間と社会(ジェンダー論、多文化共生論 etc.) 歴史と文化(グローバル史、東洋思想、芸術論 etc.)
キャリアデザイン	寄附・提携講座、キャリアデザイン・ワークショップ、寄附・提携講座
演習	学際領域演習 ジャーナリズム・メディア演習

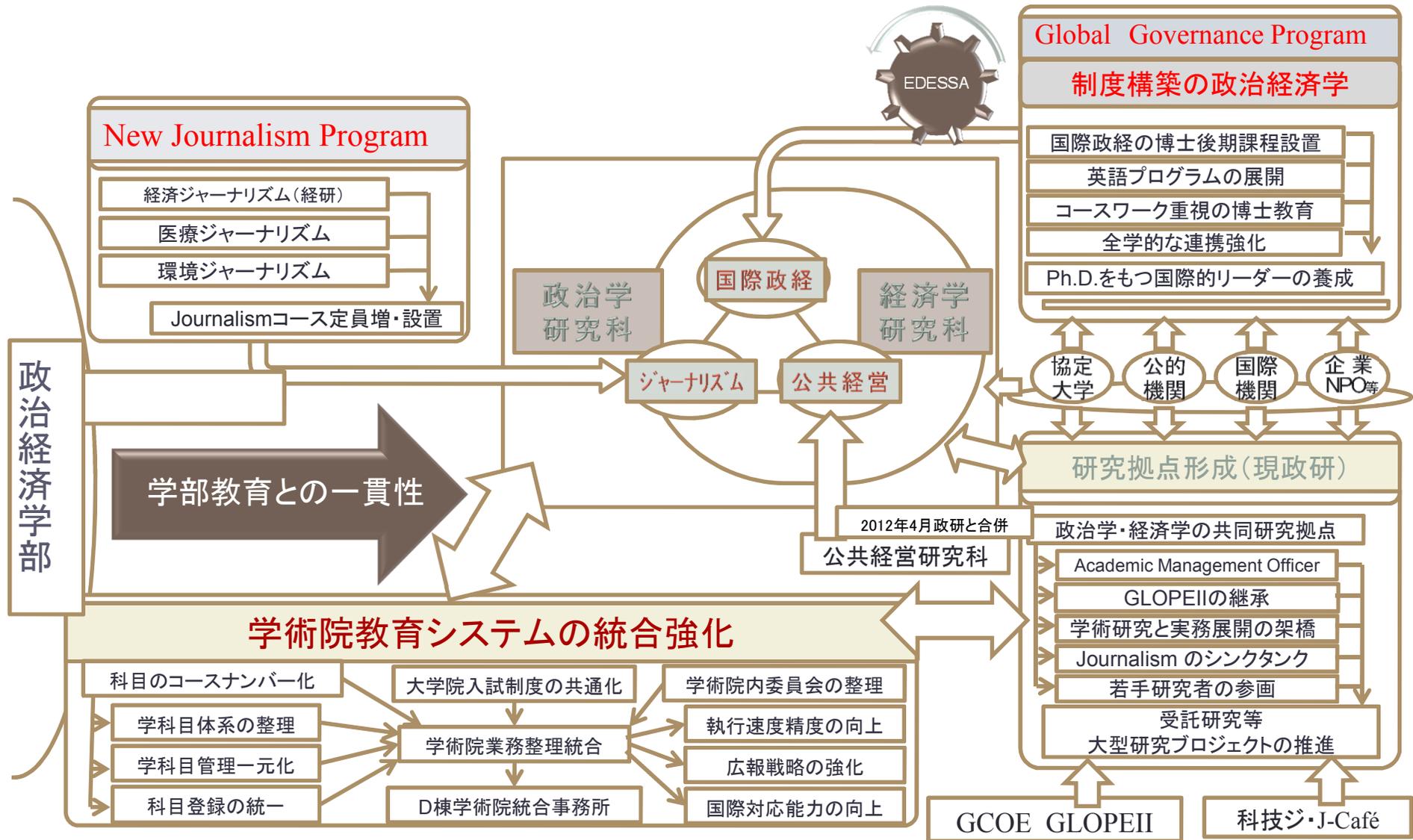
大学院における複線的で体系的な高度人材養成システム

SEIKEI Vision 150, part III

- 政治経済学部と大学院の一体的教育体系を整備し、学部卒業生の20%以上が、より付加価値の高い専門教育を求めて大学院に進学。
- 政治学研究科と経済学研究科の一体的組織運営のもと、体系的な研究者養成および高度専門職業人育成。
- コースワークを主とする博士5年一貫プログラムへの進学者、学部入学から6年間で博士号を取得する学生を多数養成。

SEIKEI Vision 150, part III

大学院における複線的で体系的な高度人材養成システム《Vision》



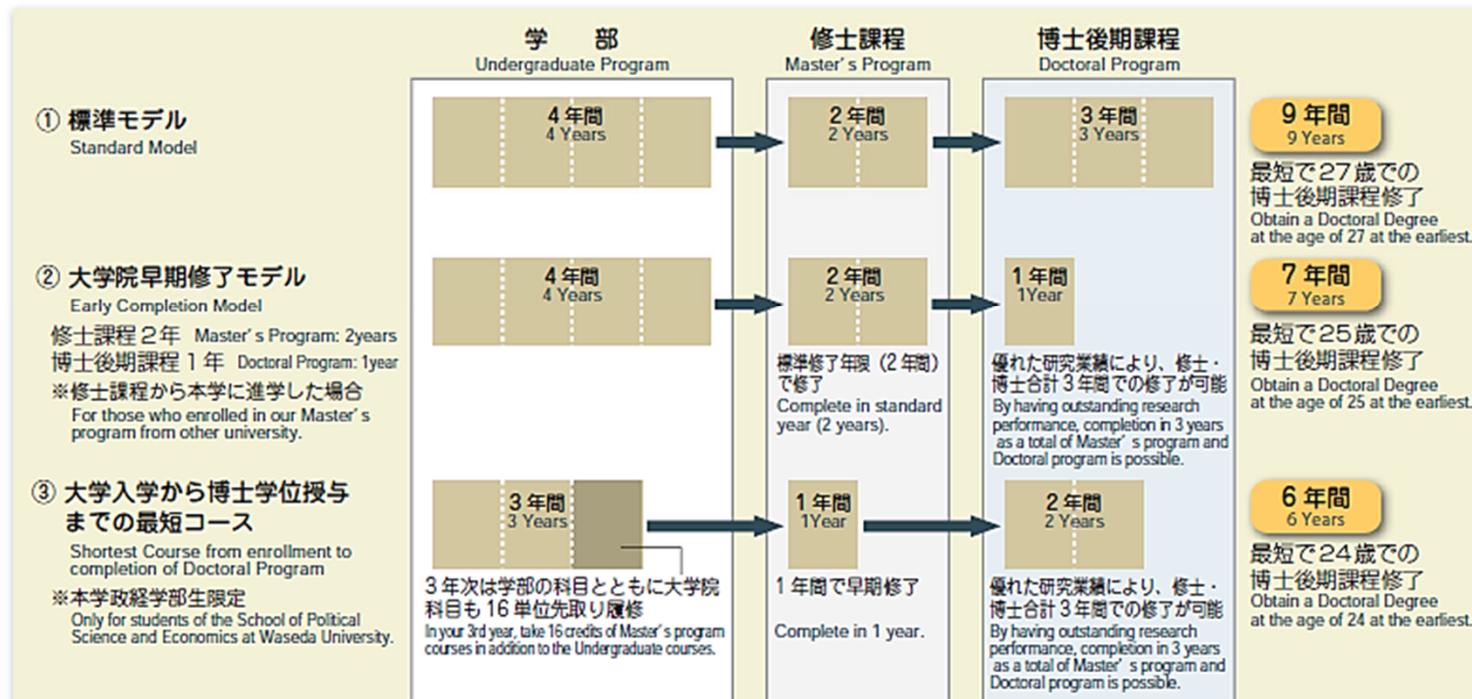
SEIKEI Vision 150, Part III 大学院における複線的で体系的な高度人材養成システム《重点的取り組み》

- ▶ 博士5年一貫プログラムの両研究科での実施
- ▶ **3+3で博士学位修得を目指す! SEIKEI Honors Programの導入**
- ▶ 学部国際政治経済学科・大学院国際政治経済学コース連動カリキュラム改革
 - ▶ グローバル・ガバナンス・プログラム(GGP)の強化
 - ▶ GLOPEIIの成果の教育定着
- ▶ 早稲田ジャーナリズム大学院新展開 → **学費改定とカリキュラム全面改定**
 - ▶ グローバル化に対応したジャーナリスト養成; J-Schoolのグローバルネットワーク
 - ▶ 社会人対応プログラム; 現役ジャーナリストのための短期リカレントプログラム
- ▶ 早稲田公共経営大学院 → **専門職課程に適切な研究指導体制**
 - ▶ 理論的な教育と実践的な教育の理想的な結合をめざす、新しい高度専門職業人養成

博士学位修得をめざす最短コースの提供

■研究者への近道

Roadmaps for Researchers



5年一貫博士教育

大学入学後6年で博士学位をめ
ざすオナーズプログラム

研究倫理教育の徹底と
論文審査の一層の厳格化

コースワーク、クォーター制を活
用したプログラムの構築

期間短縮カリキュラムにおける
フォローアップの充実

指導・審査プロセスの透明化

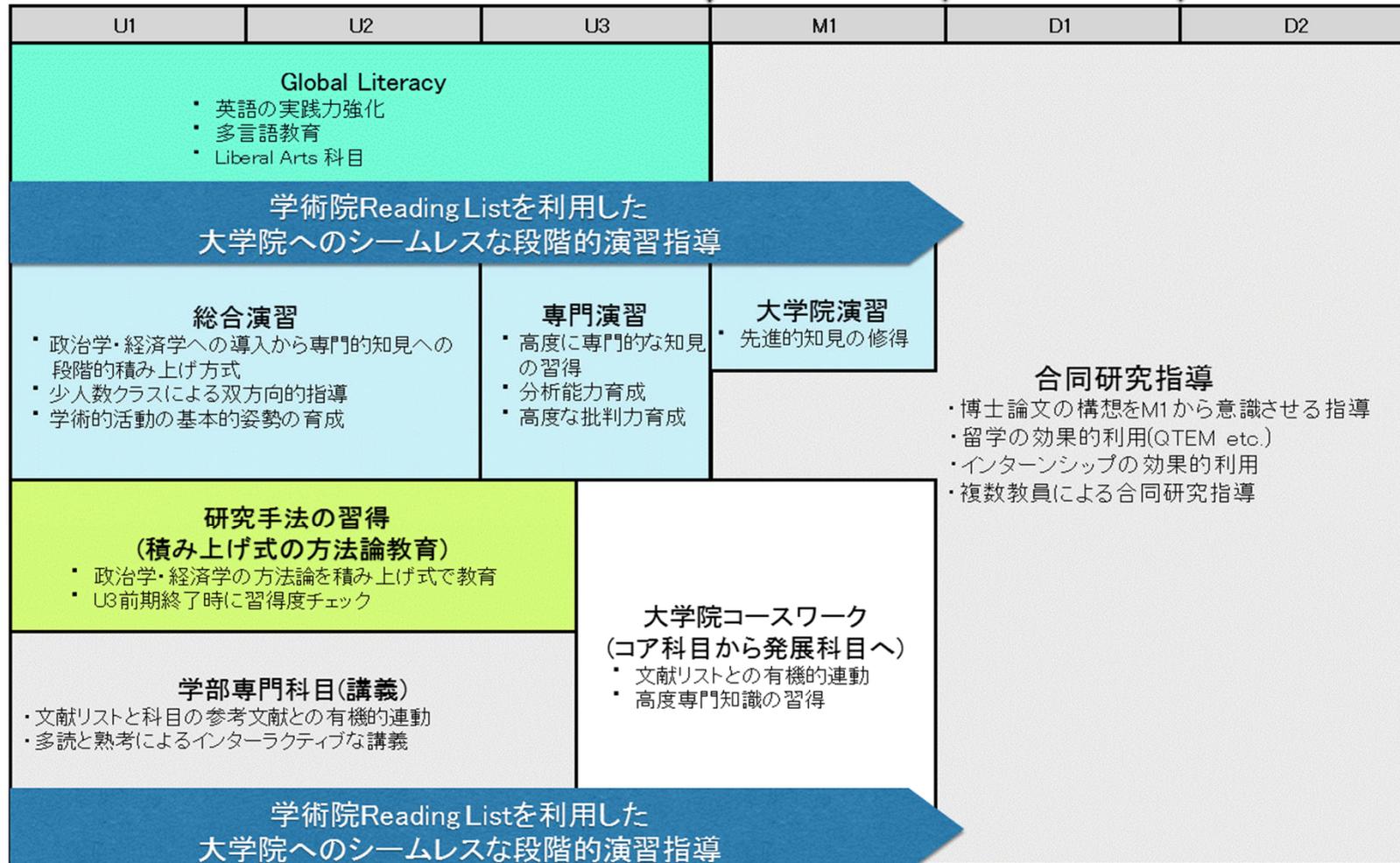


3+3 Fast Track System (GSPS+GSE)

飛び級/
三年修了

専門知識
習得チェック

論文構想力
習得チェック



複線的で体系的な高度人材養成システム



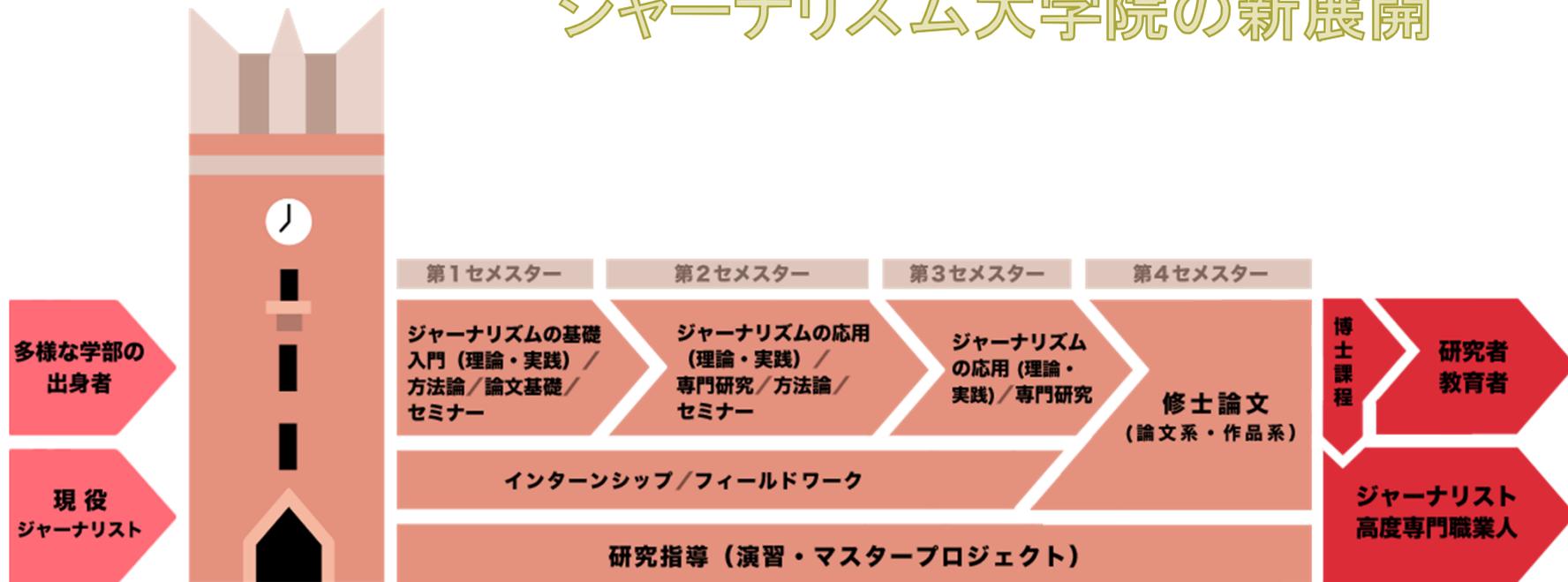
理論と実践の理想的結合をめざす
新しい高度専門職業人育成

Global Governance Program 構築

多様なキャリアパスの開拓

国際政治経済学・GLOPE II の成果

ジャーナリズム大学院の新展開



科学技術、環境、医療、政治、経済分野における専門家養成

論文系・作品系それぞれのより充実した指導体制

全実習科目における作品成果物をSpork!へ掲載し社会へ情報発信

集中講義、クォーター制、導入教育による充実した基礎力養成

入門から応用、実践と理論、多様なジャーナリスト養成を想定した履修の体系化

チームティーチングによる多様な実践演習「マスタープロジェクト」新設

経済ジャーナリズムコース設置

学費改訂・定員枠1.5倍増

ジャーナリズム教育を強かに推進する教員配置

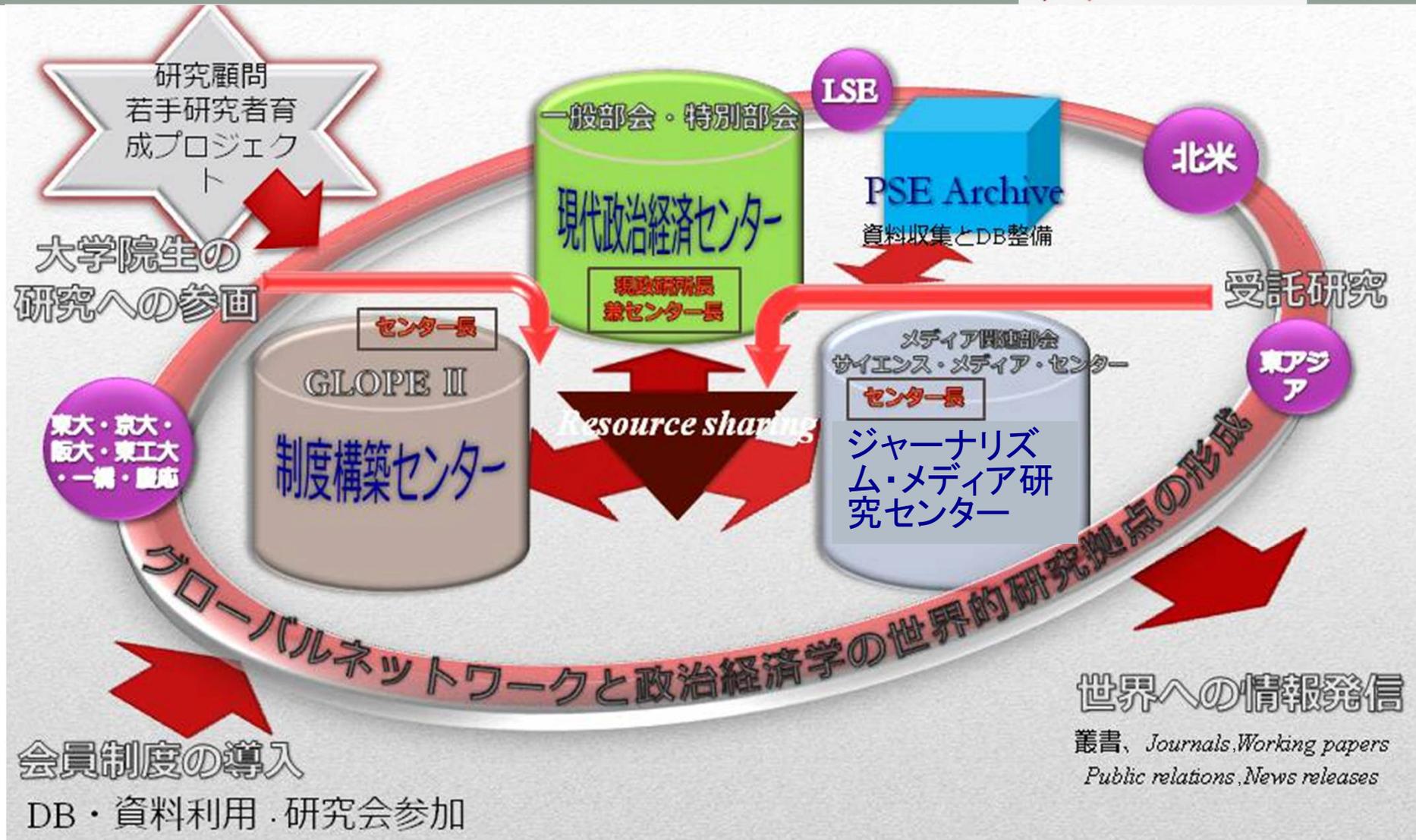
卓越した知の共同体の構築

SEIKEI Vision 150, part IV

- 現代アジア学を提唱する一方で、新たな政治経済学を構築し、21世紀に期待される地球社会の構想に貢献しようとしてきたCOE、G-COEの成果を定着させ、発展させる。
- 期待されるグローバルな共生社会の善き生と正義の実現に寄与する学問研究の不断の探求を、学術院総合力で推進し、学部・大学院におけるグローバル・リーダー育成のための国際的競争力を有する質の高い教育を展開する。
- 現代政治経済研究所を中核として、アジアから世界へ発信する研究拠点を構築する。

SEIKEI Vision 150, Part IV

卓越した知の共同体の構築《Vision》



早稲田大学現代政治経済研究所の再構築(2013年度)

点最先端の研究・教育拠点へのたゆまざる挑戦

研究の国際化戦略

大学院カリキュラムの体系化
— グローバル・スタンダード
— 早稲田メソッド

21世紀COE
現代アジア学の創生
2003- 6

21世紀COE
開かれた政治経済制度の構築
2004 - 7

魅力ある大学院教育
イニシアティヴ 2006-7

SEIKEI Vision 150
国際競争力をもつ研究・教育拠点

現代政治経済
制度構築
ジャーナリズム

現代政治経済研究所
3センター設立

21世紀G-COE
制度構築の政治経済学
2008 - 13

大学院
国際政治経済学コース
ジャーナリズムコース
2008

研究推進の現在と今後の展開

SEIKEI Vision 150, Part IV 卓越した知の共同体の構築 《重点的取り組み》

- Waseda Institute of Political Economy (WINPEC)再編
 - 現代政治経済研究センター、制度構築センター、ジャーナリズム・メディア研究センター
- 研究部会の活性化
 - 外部研究資金申請を義務化、科研費実績の向上; WINPECセミナー、院生ランチタイム・セミナー、特別部会、問題解決型プロジェクト、国際的若手研究者育成プログラム
- 政治学経済学を中心とする研究者の全学的連携の実現
- 世界的研究拠点形成のために、研究に関するグローバル・ネットワークを構築
- 高い国際的評価獲得のため、研究成果の国際的発信力強化
- 会員制による定期的な公開講座など、研究成果の恒常的社会還元



グローバル・リーダー養成ファンド

創立130周年を記して、次世代のグローバル・リーダーを養成するためのファンドを設置します。地球の視野に立ち、グローバル社会を牽引する教育研究活動を強力に推進いたします。

教育目標① 国際発信力と交渉力の養成

多様で質の高い学生を受け入れ、日英両言語によるハイブリッド型教育体系を提供することで、国際的な発信力と交渉力を備えた人材を育成します。



教育目標③ 次世代型価値創出力の養成

国際的競争力を有した知の共同体を形成し、学生の参画を進めます。グローバル・イシューの解決に寄与し、次世代の新しい価値を創出する人材の輩出に取り組みます。

教育目標② 主体的思考力と実行力の養成

学部の基礎教育から大学院の研究指導まで一貫性のある教育を提供するとともに、自学自習の教育のもと、課題を発見し、主体的に考え、他者と協力しつつも率先して問題解決する人材を養成します。



次世代型教育研究拠点

2014年秋に完成する新3号館における最新の教育研究環境のもと、次世代の人材育成に取り組みます。